

校長だより

福津市立福間東中学校
校長 猪股 清貴
平成 29 年 1 月 18 日 No53

無常観とは・・・



**「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。
沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす。」**

左の写真は2年生の国語の学習の様子です。平家物語の全体像を学習した後に全員で冒頭部分を暗唱しています。2年生の古典学習では「古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること」が学習内容として示されています。平家物語は1219年ごろの成立と言われているので、今から約800年前になります。その頃の人たちのものの見方や考え方に触れるために、約50年にわたる平家一門の興亡を源義経に焦点を当てながら大事なところをまとめてい

きます。今日は最も慕う兄頼朝のために平家を壇ノ浦で滅ぼした義経が、なぜその兄に認めてもらえないのか。また、追われるように東北に逃れなければならなかったのか。そして、義経を討った奥州藤原氏がどんな運命をたどるのか。その藤原氏を討った頼朝がどんな運命をたどるのか。説明を聞きながら、800年前の人々が感じた無常観に迫ることができたのではないのでしょうか。

「おごれる人も久しからず、ただ春の世の夢のごとし。」

(おごり高ぶっている人も長くは続かない。ただ春の夜に見る短い夢のように儚いものだ)

たけき者も遂には滅びぬ、ひとへに風の前の塵に同じ。」

(勇猛な者も結局は滅びてしまう。全く簡単に吹き飛ばしてしまう風の前の塵と同じである) だからこそ、平家物語には今を懸命に生きる人たちの姿が生き生きと語られているのです。



EJC 発表会に向けて準備万端です



左の写真は発表原稿を見ながらディスカッションをしている1年生の姿です。これが、昼休みや放課後の教室ではないところが素晴らしい。これは朝7時40分の教室の風景なのです。総合的な学習の時間の中でEJCのニュースポーツ講座で学んだグループが発表準備をしています。1年生は今週土曜日(21日)の土曜授業の日にEJCで学んだことをそれぞれのグループが発表します。総合的な学習の時間の目標の一つに「問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる」ことが示されています。グループで学んだ成果をどのよう

に発表すれば聞いている人たちにわかりやすく伝えることができるか、という問題を解決するために、自主的に朝早く登校し、主体的、創造的、協同的に取り組んでいる姿ですね。

どんな発表を聞かせてくれるのか今からが楽しみになってきました。土曜日は2年生は授業と修学旅行説明会、3年生は真剣な授業の姿です。ぜひご覧になってください。(裏面参照)